

会 っちゃお、聞 いちゃお、話 しちゃお、

仕 + 事

# 夢中になれることをシゴトにしたい!

トークイベント

日時 | 7月14日 (日) 13:30~15:00

場所 | 諏訪市駅前交流テラスすわっチャオ  
第3会議室



## PROGRAM

- |                |  |
|----------------|--|
| 【第1部】夢の叶え方     | 自分の選択一つで未来は変えられる。パネラーはどのような選択をしたのかを問う。 |
| 【第2部】一歩踏み出すヒント | パネラーの助言をもとに、漠然とした明日への暮らしぶりが一変するかもしれない。 |

## MEMO

- 参加費：無料      定員：30名 (申込不要)
- 駐車場：市営駅前駐車場 (3時間無料)、アーク諏訪駐車場 (1時間無料)
- 主催：諏訪市・諏訪商工会議所
- 企画：諏訪フューチャーラボ<sup>つなぐ</sup>Tsunagu  
(協力：諏訪圏移住交流推進事業連絡会)

## パネリスト

小口正史  
Oguchi Masashi

無料雑誌『HiFood』が6月に創刊した。制作メンバーは地元と都会からの移住者だ。編集長小口が寄せる郷土への思いと、事業立ち上げの秘話を聞く。



矢崎美和  
Yazaki Miwa

妻で母親の私がビデオ会社の代表になる。「夢中になれる事を仕事にしたい」が口癖だった。踏み出せたのは家族の協力と周囲の声援だった。



柿澤直音  
Kakizawa Naoto

諏訪東京理科大学学生で諏訪生まれ。生粋といえば彼は諏訪人気質のDNAを引き継いでいる代表格かも。「諏訪人ってワーワー云うだけで結論が出せない民族だ!」



高須生恵  
Takasu Iku

諏訪市出身で東京住まい。仕事は東京と信州を結ぶNPO法人ふるさと回帰支援センター相談員。移住ブーム最中であって、諏訪はどのように都会から見られているのだろう。



伴在賢時郎  
Banzai Kenjiro

「諏訪マジカルヒストリーツアー」の著者で長野日報社特別編集委員。知られざる逸話と記憶の伝説を集めた諏訪産業の源流を説いた書。辛口論説などでファンが多い。



小泉正夫  
Koizumi Masao

アーク諏訪3階にコワーキングスペースを立ち上げた仕掛人。起業・開業を上諏訪駅から始めましょう。夢中なシャベリ場を演じました。当日は進行役を務めます。

